

学会企画シンポジウム 3

インクルーシブな教育心理学に向けて ——排除と向き合う実践との対話——

企画・司会 : 栗田季佳 (三重大大学)
企画 : 野崎優樹 (甲南大学)

話題提供 : 鮫島輝美 (関西医科大学)
関係に基づく教育
——学びの場のデザイン——

話題提供 : 土肥いつき# (京都府高校教員)
人権をどのように伝えるか

話題提供 : 三浦綾希子# (中京大学)
移民の子ども・若者の学びを支える
——学校と NPO のインクルーシブなとりくみと
その課題——

指定討論 : 吉田寿夫 (関西学院大学)

企画趣旨:

共生社会に向け、障害・性・国籍・民族・宗教などの違いを超えて、教育の人権の実現を目的とする、インクルーシブ教育の取り組みが国内外で進められている。昨年度総会において行われたインクルーシブ教育のシンポジウムでは、教育の中の差別や排除の実態が報告され、これらの問題に対する心理学の現状が共有された。本シンポジウムはその続編として、障害児、外国籍児童、セクシャル・マイノリティをめぐるインクルーシブな実践を学ぶ機会とする。話題提供者からの報告を踏まえ、人権や変化のプロセスといったインクルーシブ教育の考えを取り入れた、新たな教育心理学の形を共に考えたい。